



寄居ロータリークラブ YORII ROTARY CLUB 会報



R.I.会長
ステファニーA.アーチック
第2570地区ガバナー
五十幡 和彦
第4グループガバナー補佐
柴崎 猛



令和6年7月24日(水)
会場 Spark (寄居町商工会)

第2736回例会

司会 赤坂 匠康 (SAA)
点鐘 松本 幸男会長 (12:30)
ソング 君が代 奉仕の理想

お客様

国際ロータリー第2570地区 ガバナー 五十幡和彦さん
ガバナー補佐 柴崎 猛さん
地区幹事 田嶋 博夫さん
地区大会副実行委員長 倉持誠一郎さん
ガバナー月信編集委員 神田日出雄さん
ロータリーの友地区代表委員 田島 高久さん

1. 会長の時間

松本 幸男さん

皆さん、こんにちは。寄居ロータリークラブ会長、松本幸男です。よろしくお願ひします。本日は国際ロータリー



2570地区、2024-2025ガバナー五十幡和彦様をお迎えしています。先ほどの懇談会もありがとうございました。本日はよろしくお願ひします。そして地区役員から、地区幹事の田嶋博夫様、地区大会実行委員会実行委員長 倉持成一郎様、ガバナー月信編集委員会委員の神田日出雄様、ロータリーの代表委員 田島高久様、ありがとうございます。本日はどうぞよろしくお願ひします。

会長の時間は、本日はガバナー公式訪問ということで、何を話そうと大変考えたのですが、先週7月17日、ガバナー補佐訪問のときに、寄居ロータリークラブについてヒアリングが行われました。テーマとしてはクラブの概況について。言ってみれば寄居クラブの全体像はどういうものなのかを伝えてほしいということでした。それを私がどのように答えたのかを皆様と共有したいと思います。よろしくお願ひします。この話をすれば、五十幡ガバナーや地区役員の皆様に寄居ロータリークラブがどのようなクラブかわかると思います。

それでは一番目の質問。「クラブの特徴・強み弱み・世代間バランスはどうか。」先週少し話しましたが、強みとしては、当クラブの出席率は年間平均80%から90%

台を推移していること。会員の出席に対する意識が高い。そこが強みであると思っています。しかしながら弱みとして、ロータリーの本質的な理念や活動内容について、1人1人が理解し、誇りを持って活動しているかは、把握できません。把握ができないというのは、出席率がこれと連動しているのかというところが分からぬからです。新しい方が入会して、私もいろいろな相談に乗ります。1人1人の責任感、ロータリアンとしての気持ちから出席しているというところなのでしょう。それを継続していると疲れてしまうので、やはり楽しく参加できているという方向に持っていきたいと私は思っています。

また今後高い出席率の保持と、退会者を出さないためにも各会員にクラブの現状についての満足度アンケートを実施したいと思いますので、どうぞご協力よろしくお願ひします。そして世代間バランスですが、数字で言いますと30代1名(3%)、40代が3名(8%)、50代13名(35%)、60代9名(24%)、そして70代8名で(22%)、80代1名(3%)、90代2名(5%)、合計37名。寄居ロータリークラブの現状のバランスとしては非常に良いのではないかと私は思っています。ただこれが3年、5年進んでいきますと、だんだん世代間が移つていきますので、継続して会員増強等に力を入れていかなければならぬと思います。

そこで2番の質問。「会員増強の状況とこれから可能性。」私の答えは、会員はここ3年で毎年約2、3名純増しています。新入会員が入ったとしても、いろいろな事情で辞められる方もいます。今年度は7月、既に2名の方の入会もありましたので、今後もクラブとしては40名を目標とし、積極的な会員増強に努めたいと思っています。そこで、先ほどのアンケートと一緒に推薦書も一緒に配りたいと思いますので、ロータリアンにふさわしいという方がいらっしゃいましたら、推薦していただければと思います。間違えてはいけないのが、ロータリーに入ってくださいと

取り付けてから推薦書を書くのではなく、その方に話をする前に推薦していただいて、それを幹事もしくは事務局に提出してください。この方法であれば皆さんの推薦も気軽にできるのかなと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

次に3番目の質問。「クラブでブランド化している奉仕プロジェクト。」寄居ロータリークラブでブランド化して奉仕プロジェクトをしているのは何だと思いますか。と質問すると答えるのが難しいと思います。寄居ロータリークラブでは3つあります。一つ目が、寄居町ふるさとの祭典市への参加。今年度は11月10日の日曜日に参加します。さんま焼きで服を台無しにしている方もいると思います。2, 3回洗っても消えません。ダメになってもいい服装での参加をお願いさせてもらったこともあります。今年もやります。二つ目、前年度の地区補助金を利用し、新設した寄居駅南口通りの街路樹に樹脂のネームプレートの寄贈、そして設置・清掃・水やり作業。今年度も12月7日土曜日に引き続き清掃・水やり作業を実施したいと思っています。こちらは、押田さんがみどりの会の会長をしていていますので、押田さん中心に行いたいと思いますので、よろしくお願ひします。そして三つ目。新事業として今年度の地区補助金を利用し、地区の子供たちを対象に「寄居ロータリークラブ、親子荒川エコキャンプ」を実施します。規模としては50名。寄居町の青少年相談員と共に活動したいと思っています。寄居ロータリークラブの担当は社会奉仕・環境保全委員会、青少年奉仕委員会が中心となります。代表として社会奉仕・環境保全委員会の権田さんにお願いしているところでございます。よろしくお願ひします。これには目標があります。子供たちが来ることで、子供たちにロータリーを知ってもらうことです。ロータリーの説明もします。そして子供たちが大きくなってロータリアンとして活動したいと思っていただければ最高です。この事業は継続事業として扱っていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

最後に、9月のポリオ根絶活動への取り組みということで、3 Day マーチへ参加します。そして他には先ほどの一つ目、ふるさとの祭典市でのポリオ根絶の活動。そして三つ目の新事業でポリオ根絶の活動をします。こちらは委員長の権田さんが募金を含めて行いたいという事なので、一生懸命活動していきたいと思います。

寄居ロータリークラブの概況は以上です。皆様もこれから、寄居ロータリークラブをさらに盛り上げていただきますようご協力ををお願いして本日の会長の時間とさせていただきます。ありがとうございました。



2. 幹事報告

下条 誠さん

改めまして、皆さんこんにちは。寄居ロータリークラブ幹事、下条です。よろしくお願ひします。幹事報告をします。



先ほど松本会長の方から話がありましたが、午前中には五十幡ガバナーと寄居ロータリークラブ入会3年未満の5名と懇談会をしました。五十幡ガバナー、柴崎ガバナー補佐の話、大変勉強になりました。もちろんお2人の話にも非常に感銘を受けたのですが、入会3年未満の5名の方の話は、私よりよほど考えていると本当勉強になりました。これからいろいろ私も勉強するよう頑張っていきますので、どうぞよろしくお願ひします。

では次に本日のスケジュールです。この例会の中で五十幡ガバナーからお話をいただき、例会が終了したら、ガバナーを囲んで皆さんで記念撮影。記念撮影の後、会場を若干ですがレイアウトの変更をしてからクラブ協議会を行います。クラブ協議会は、寄居ロータリークラブは3グループに分けます。テーマは、「ロータリーに入ってよかったです」とことです。このことについて話し合いをします。右からAグループ、真ん中がBグループ。そしてCグループです。グループの中でファシリテーターを決めていますので、ファシリテーターの方が進行し、各グループ1人3分ずつ話して、最終的にはファシリテーターが話をまとめて、代表者を決めてグループ発表します。そして五十幡ガバナーから講評をしていただく流れとなります。ファシリテーターは、Aグループ、小宮俊光さん、Bグループ、清水浩一さん、Cグループ、赤坂匠康さんにお願いします。協議会については以上となります。

最後に、地区の方から「地区大会記念チャリティーゴルフコンペの開催」の案内があります。これは9月10日火曜日です。締め切りが7月31日までですので、皆さん奮って参加してください。幹事報告は以上です。ありがとうございました。

3. 委員会報告

(1) 出席推進委員会

山口 正彦さん

例会日	総員	欠席	出席	MU	出席率
7月24日	37	7	30	0	81.08%
7月17日の修正出席率					78.38%

(3) ニコニコボックス委員会

荻野 真仁さん

田嶋 高久さん 本日なお世話になります。宜しくお願ひ致します。

松本 幸男さん 2570地区ガバナー五十幡和彦様、地区委員田嶋博夫様、倉持誠一郎様、神田日出雄様、田島高久様、ようこそ寄居RCへ。当クラブの雰囲気を楽しん

下条 誠さん	でいただければと思います。よろしくお願ひ致します。大きくいただきました	高田 徹さん	五十幡ガバナー様、柴崎ガバナー補佐様、お客様、ようこそ寄居RCへ！本日は何卒よろしくお願ひいたします。
松本 則之さん	五十幡ガバナー、本日はご指導よろしくお願ひします。	権田 功さん	五十幡ガバナー様はじめ皆様、本日は寄居RCへありがとうございます。よろしくお願ひ致します。
松本 則之さん	五十幡ガバナー、本日は勉強させていただきます。よろしくお願ひ致します。	高倉 隆綱さん	先週、本堂で見つけた子猫4匹を無事に保護することができました！畠は汚されました、新しい家族として大切に育てていきたいと思います。
佐橋 正行さん	五十幡ガバナー、お客様、寄居RCへようこそ。本日はよろしくお願ひします。	豊田 康業さん	五十幡ガバナー、本日はお越しいただきありがとうございます。懇談会もとても勉強になりました。本日は宜しくお願ひします。
浅見 克一さん	五十幡ガバナー、ご指導よろしくお願ひ致します。暑い毎日、御苦労さまです。	野村 文昭さん	五十幡ガバナー、ようこそ寄居RCへ！！本日はどうぞ宜しくお願ひします。
小宮 俊光さん	五十幡ガバナー、並びにご同行のお客様、ようこそ寄居RCへ。ガバナー卓話も楽しみにしていました。宜しくお願ひ致します	押田 大助さん	五十幡ガバナー、本日は卓話楽しみにしております。
山口 正彦さん	本日はガバナー公式訪問。五十幡ガバナー、柴崎ガバナー補佐、お客様、壱日ご指導、宜しくお願ひ致します。	清水 雄一郎さん	本日も宜しくお願ひ致します。五十幡ガバナーのお話有難うございます。
清水 浩一さん	ガバナー五十幡様、随行者の皆様、ようこそ寄居RCへ。ご指導よろしくお願ひ致します。	福島 徹さん	本日3年末満の懇談会、五十幡ガバナーと皆様、参加させていただき、ありがとうございました。
三友 俊一さん	ガバナー五十幡和彦様、ガバナー補佐柴崎猛様、地区幹事 田島博夫様、本日はよろしくお願ひします。	荻野 真仁さん	毎度ニコニコボックスのご協力、ありがとうございます。五十幡ガバナー、本日はご指導よろしくお願ひします。あわせて、もうじき始まるオリンピックでの日本人選手の大活躍を祈念いたします。
加藤 祐司さん	ようこそ五十幡ガバナー様、そして随行者の皆様。本日はご指導のほどよろしくお願ひいたします。		
安齋治一郎さん	五十幡ガバナー、寄居RCへようこそ。本日はご指導宜しくお願ひします。		
赤坂 匠康さん	五十幡ガバナー様、随行者の皆様。よろこそ寄居RCへ。本日はご指導、よろしくお願ひ致します。		
橋本 則彦さん	五十幡ガバナー様、本日ご指導ありがとうございます。地区委員の皆様、ようこそ寄居RCへ。		
森田 淳一さん	本日はガバナー公式訪問にて寄居迄お越しくださいまして、皆様大変ありがとうございます。皆様よろしくお願ひ致します。		
吉田 昌弘さん	五十幡ガバナー、お客様、ようこそ寄居RCにお越しいただき、ありがとうございます。本日はご指導のほど、どうぞよろしくお願ひ致します。		
小鯉 哲夫さん	五十幡ガバナー様、寄居RCへようこそ。今日はしっかりと勉強させてもらいます。よろしくお願ひします。		

卓話 国際ロータリー第2570地区 ガバナー 五十幡 和彦さん

ご紹介いただきました五十幡です。まずは本日皆様方、80%の出席率、本当におめでとうございます。そして先ほど懇談会をさせていただきましたが、寄居ロータリークラブの新しい会員の皆さん、本当に素晴らしい方たちばかりです。私も今日、強い活気を感じました。また松本会長には、概況報告で寄居ロータリークラブをしっかりと把握し、寄居ロータリークラブの事業の説明を本当にわかりやすくしてくれました。

そして私が何よりも感謝しているのは、皆様の身内の柴崎ガバナー補佐です。初めてのガバナー補佐会議の頃は、My Rotaryに慣れていないくて大丈夫かと思ったのですが、昨日も訪問のあったクラブの皆様方にMy Rotaryの目標を入れていただきました。本当に素晴らしい柴崎ガバナー補佐のリーダーシップ。また柴崎ガバナー補佐の卓話が評判が良く、深谷での卓話が大変良かったと聞いています。このよ



うな素晴らしいガバナー補佐を輩出してくれた寄居ロータリークラブに感謝申し上げます。

寄居ロータリークラブ輩出の地区役員の皆様

それでは始めに地区へ協力いただいている皆様を紹介します。まず柴崎ガバナー補佐です。ガバナー補佐として活躍していただいている。そして、ロータリー米山記念奨学委員会副委員長並びに国際奉仕委員会グローバル交流委員会副委員長として赤坂さん、国際奉仕委員会グローバル交流委員会委員として森田さん、ロータリー財団委員会のポリオプラス委員会副委員長として、安齋さんです。安齋さんにはR L I の方でもお手伝いいただいている。皆様方にお立ちいただいて、大きな拍手をお願いします。本当に寄居ロータリークラブのこうした地区役員の皆様のおかげで地区が成り立っていることを、改めて感謝申し上げます。

さて私ですが、会長をしたとき柴崎さんと同期で2016-2017年に会長をしました。その後地区ではマイロータリー推進委員、ロータリーの友地区代表委員、社会奉仕委員会委員長、そして昨年はガバナー補佐をしました。また経歴的には青年会議所理事長やPTA連合会会長をしていました。懇談会の中にも青年会議所に参加している方が多くいて、すごく身近に感じました。

本日の話ですが、前半は皆さんにR I のテーマをお伝えし、続いてこの地区の方針をお伝えします。これが私の役目です。そして後半は皆さんの大変な関心事であります「会員増強のために」ということで時間をとりたいと思っています。

1. 国際ロータリー会長テーマ

初めに国際ロータリー会長のテーマです。会長はステファニー・A・アーチックさんという方で、長らく戦略計画などを歴任された方です。私が何か言うよりも、会長のこのテーマを発表するときのビデオがありますので、それを皆さんと一緒に見たいと思います。私が国際協議会で全く皆さんと同じような立場で、同時通訳で会長のお話を聞きましたので、ご覧ください。（ビデオ）

今年度のテーマにはそういうストーリーが隠されていました。私達はマジックを引き起こすロータリーの一員として活躍しなければなりません。ロータリーのマジック、このような素敵なかロゴもいただきました。Simply Irresistible(抗えない魅力に満ちたロータリークラブ)、とにかくクラブの活動が全てなので、そのクラブが素晴らしいクラブになってほしいというメッセージをいただきました。他にはポリオの根絶と資金の調達、ロータリーの行動計画、クラブでの体験を魅力的なものにする、会員増強とDEIの推進です。

2. 国際ロータリー第2570地区活動方針

（1）自分を磨き、事業も磨き、世界平和に貢献するために

それを受け、私の方で2570地区の活動方針を作りました。それは「入ってよかったロータリー」です。

まず、ロータリーに入って自分を磨くことができました。また事業も発展させることができました。そしてその先は世界平和に繋がっています。

これは私が会長をしたときの年度計画書ですが、この中に「我れ磨き、事業を磨くロータリー」というスローガンを掲げました。これは大変良い言葉なのですが、実は私が作ったものではありません。この前の年に鈴木秀憲さんがガバナーをしたときにロータリー川柳を募集しました。一番右側にある「我れ磨き、事業を磨くロータリー」これは私達のクラブの会員で98歳になる清水会員の川柳です。商工会議所では今から3代前の会頭でした。

そしてガバナーとして2回目を務めた鈴木秀憲さんもロータリーについて「自分と自分の職業を磨きながら、地域や国際社会に貢献する団体です」とロータリーの目的を紐解いて説明してくれています。ロータリーに入ると自分を磨くことができます。また、事業を磨くことができます。そしてその先には世界への貢献があります。

（2）Rotary Moment 会員誰もが、ロータリーで出会った感動と魅力を語れるように

もう一つです Rotary Moment。会員誰もがロータリーで出会った感動と魅力を語れるようにということです。これの発端となるのは、ビジョンレポートです。日本のロータリーは会員数の減少に大変苦しんでいます。それを解決するためにはどのようなことが必要なのか。群馬県前橋の本田さんというパストガバナーが中心になったビジョンレポートがあります。

これは将来のことを考えた戦略計画をきちんと立てましょうということです。本田さんが言うには、その戦略計画に加えて、ロータリーで出会った様々な体験をとにかく多くの人に語ってもらい、ロータリーのファンを増やすことが大切だそうです。

（3）クラブの奉仕プロジェクトをブランド化し、公共イメージを向上させる

地区的委員会はクラブを支援するためにあります。ロータリー会員のためにあるのです。皆様方のクラブの事業が発展することが全てです。

本日松本会長が話していたクラブ事業のブランド化する取り組みとして、寄居町ふるさと祭典市への参加や、昨年は地区補助金を使い、寄居町南口通りの街路樹に対するネームプレート寄贈による普及活動を行ったと聞いています。今年は寄居ロータリー親子荒川エコキャンプの開催、素晴らしいですね。

寄居ロータリークラブの皆さんのおかげで、子供たちのキャンプができたということになります。この素晴らしいクラブの奉仕活動をブランド化していただきたいと思います。私たち地区は様々なことを通じて、皆さんのクラブを応援したいと思います。会員の満足度アンケートをとる話もきましたが、会員の満足度に繋がるのがクラブでの体験です。どのような体験がクラブへの参加する意欲へ繋がるかということで、ぜひこの体験を中心にやっていただけ

ればと思います。クラブは皆さんのブランドを、「ロータリーは何をしているのですか」というときに紹介してもらえばと思います。

(4) RI、地区のポリオ根絶を中心とした奉仕活動をブランド化する

地区として、世界としての取り組みは、ポリオの根絶、END POLIO NOWです。この間三大セミナーを使ってポリオ根絶を訴えてきました。そしてこれからは、各クラブの皆さんにお願いです。高丹年度の地区大会参加された方はご存知だと思いますが、各クラブの紹介を30分のビデオにまとめて各クラブ紹介をグループごとにしました。今年のクラブの紹介はポリオ根絶活動、あるいはこの公式訪問の様々な取り組みの写真を中心として、クラブの紹介を行いたいと思っています。また、3DAYマーチへの参加を表明していただいている。皆様方に、世界中のロータリーがポリオ根絶をやっているということを理解していくたくそんな年にしたいと思います。

そして最後の集大成は、コロナで大変活躍された尾身先生が地区大会で私達に「ロータリーのおかげでポリオをここまで抑えることができました。」という話をしてくれます。既に尾身先生は昨年、日経新聞の特集号でそのように述べられています。今年も日経新聞で一面の広告を使って、ポリオの根絶とロータリークラブの取り組みをアピールします。そして日本3DAYマーチですが、世界的に多くの方が集まるイベントですので、皆さんの参加をお願いします。

また、国際的なネットワークを生かして、青少年の交換や米山記念奨学生の受け入れ、財団の派遣事業、あるいは国際貢献の様々な事業をしています。赤坂さんが、米山でも国際奉仕委員会の方で国際的なネットワークを生かした取り組みを活発に活動しています。世界にある組織だからこそできるネットワークの取り組みを、皆さん方が醍醐味にして味わっていただければと思います。

(6) 各クラブ2名以上の会員純増とDEIの推進

クラブ2名以上の会員増強。地区の方にRIから要請されているのは、各地区で100名以上の増員です。この地区で100名の動員を考えたときに47クラブありますので、各クラスで2名ぐらいの増加です。今日松本会長からも40名を目指します。という心強い言葉がありましたので、ぜひ40名を目標に活動してください。ただし、会員増強ありきで会員増強が全ての目的ではありません。

会員増強はなぜ必要かというと、大きな会員増強ができれば、大きな奉仕プロジェクトをすることができます。奉仕プロジェクトが大きくなれば、公共イメージが上がって様々なマスコミも寄居ロータリークラブの取組みを取り入れてくれます。それを知った多くの方が、寄居ロータリークラブに入ろうという会員増強に繋がります。更には大きなプロジェクトができ、公共イメージの拡大となりさらなる会員増強になります。会員増強だけを前に出すとアレルギーになったり、アンチの方がいるかと思います。大き

なプロジェクトをするための会員増強であるということを付け加えていただければと思います。

私達行田さくらロータリークラブも40人台の時代がありました。50人になり、より大きな予算規模でダイナミックな奉仕プロジェクトができるようになりました。40人のクラブと50人のクラブは本当に違うなと私自身が実感しています。会員数が増えればより大きなプロジェクトができますので、ぜひ会員の拡大に努めてください。

(7) ロータリー財団への理解と寄付目標達成

そして財団への寄付ですが、今年度からシステムを少し変更し、基本的に財団の寄付が極端に少ないところについては少し見直させていただきました。米山の寄付の状態も、こちらは後から会長にレポートをお渡します。またクラブとして検討ください。

(8) ロータリーの基本理念の再確認とDEI

次にこのロータリーを形作っているのが、ロータリーの目的、公式標語です。また四つのテスト、ロータリーの行動規範、中核的価値観。最近は、ロータリー行動計画を大切にしています。

そしてDEI。先ほど柴崎ガバナー補佐に話をしていただきましたが、会員が例会に出て楽しいのは、第一にこの例会に参加して、居場所があることです。そして二つ目は居心地がいいことです。居場所があるためには、皆さん方は新会員にみんなで声かけてください。初めての方はこのようなネットワークがなく、知らない人が多い形になりますので、ぜひ居心地のよい居場所を作ってください。そのためには、多様性や公平性、インクルージョンというが必要になってきます。尚、この地区のホームページの中にはロータリーの基本理念をもとにした職業方針というページを作っていますので、職業方針の卓話としても活用をしたり、地区の職業奉仕委員会にお声がけください。

そしてインターフラブの支援です。世界中にロータリアンが120万人とロータクターが20万人。合わせてロータリー会員は140万人という考え方になっています。そのため、ロータクトクラブも、ロータリーのメンバーだという意識を持ってほしいと思います。皆さんにもお配りしておりますが、地区研修・協議会の資料の中で、ロータリーの会員数の移り変わりがあります。この中に3年前からのアクトクラブのメンバーを入れました。その前からもロータークラブの皆さんが多いのですが、正確な数字がなかったことから、まずは3年間を入れました。

3. クラブの活性化のために

(1) CLPと行動計画

CLPに基づく委員会活動の組織ですが、年度計画書を見ましたが本当に綺麗にクラブ協議会・会員増強・奉仕プロジェクト・ロータリー財団と分かれています。見本とすべき委員会組織のあり方です。これも松本会長あるいは柴崎ガバナー補佐の指導があってのものと思っています。

クラブの行動計画と理解の推進。今、RIは行動計画を進

めています。行動計画と示されていることから、何かもつと計画しないといけないというがちです。このことは行動するための考え方の指標になりますので、ぜひ行動計画に関して例会を開いたり、何かディスカッションをしたり、会長卓話の中でこちらを紹介してください。

(2) 3年間の目標と計画 (3-Year Goals)

続いて3年間の目標と計画です。ロータリーは、単年度制です。単年度制ですと、年が変わって会長の方針がガラツと変わったり、地区ガバナーの方針がガラツと変わってしまい、継続性がなくなります。そこで3年間。つまり会長の場合は会長と会長エレクト・ノミニー3年間の話で目標を考えてください。ガバナーの場合は、ガバナーとエレクト・ノミニーで考えてくださいという形で、3年間の目標を考えるようにと言われています。

目標の入力ツールもロータリークラブ・セントラルに設定があります。戦略計画ですが、資料をダウンロードできるので、ここから戦略計画を見ることができます。皆さんの会社も、1年で終わるということは考えてないと思います。3年後皆さんの会社はどうあるべきなのか、5年後どうあるべきなのかを考えると思います。ロータリーも3年後5年後を考えたら、会員の増強をどのように進めるかを考えるときその方向性が出ると思います。

(3) 研修からラーニングへ、ラーニングセンターの活用とRLIの受講推進

またロータリーでは、今研修からラーニングへということ流れになっています。こうやって壇上で話すスクール形式から、皆さんの発言の中から学び取るラーニングというのを推奨しています。お隣の第2770地区では、私達は地区チーム研修セミナーと呼んでいるものが、既に地区ラーニングセミナーに、皆さんがPETSと呼んでいるものが、会長エレクトラーニングセミナーに変わっています。昨年から研修リーダーの名称もラーニングファシリテーターに変わって、地区研修協議会もラーニング委員会ということになりました。

そしてMy Rotaryの推進ですが、こちらについても先ほどの冊子の中に登録の方法が書いてあります。

ロータリークラブ・セントラルの目標ですが、昔はこのような形のフォーマットで入力していました。2017年より以前に回答された方は、ここに入力したことを覚えている方もいるかもしれません。今はネット上に入力するという形になりました。そしてラーニングセンターの活用ですが、こちらの2022年までの会長は、「クラブを成功に導くリーダーシップ」というのが補佐の点検項目になりましたが、こちらもサイトの中から研修を受けるという形に変わりました。

それから安齋さんがいらっしゃいますRLIの推進です。RLIに参加していただくと体系的にロータリーがわからることになります。残念ながらロータリーの退会者は入会3年未満の方が多く、ロータリーのことをあまり知らないまま退会される場合があるので、ぜひこのRLIセミナーを受

けていただければと思います。

4. 会員増強のために

(1) 会社の経営と同じく増強目標と立てる

後半は会員増強するためにお話をさせていただきます。2018年-19年に私は地区の会員増強委員会副委員長として卓話をさせてもらっていました。その前の年の地区大会で、私達のクラブは、会員増強の優秀クラブとして9名の純増と会員数の増強自体は10名の増強を行い、そこで表彰を受けました。行田市内に行田ロータリークラブと行田さくらロータリークラブがあり、大変熾烈な獲得の競争が行われています。私はクラブの目標として会員の増強について10名の目標を立てました。それから例会の充実と公共イメージの向上、また職業方針について、そして地域社会について様々な目標を立てました。

私は目標として、できれば地区内ベスト10に入りたい、そして行田クラブを会員数で抜きたいという目標を立てました。やはり目標を立てるということが全てです。目標を立てて、様々なところに当たるようになりました。会員増強を達成するためには会社の経営と同じように目標を立てるということです。

(2) 候補者リストを作成し、毎月委員会で進捗状況を共有する

そしてリストをきちんと洗い出して、そのリストについて毎月会議を開いて、そのリストの状況をどのようにして、誰がどのようなアプローチをして頑張るかということを検討することが必要です。私が会長になるまで会員増強委員会は年に2回しか開きませんでした。2回しか開かなければ、誰が誰を担当していたかも忘れてしまうくらい状況がわからなくなることから、毎月委員会を開くことが必要になります。

5. 再びRotary Moment 会員誰もが、ロータリーで出会った感動と魅力を語れるように

そして改めてビジョンレポートにあったロータリーの感動的な体験です。懇談会の時にも出たのですが、ロータリーのバッジをいろいろな場所にしていきましょうと言われています。実は私も、ロータリーのバッヂをして山手線に乗ったら、若い学生が私の方へやって来るので、何だか怖いなと思いましたが、「ロータリーの方ですね」と言うのです。「実は、私はロータリーの交換学生で海外に行かせてもらいました。本当にありがとうございます」と、バッヂをつけていたことから、見ず知らずの私に挨拶してくれました。その学生にとってとても、勇気が必要だったと思います。感謝の気持ちをどうしても伝えたかったそうです。

深谷に、渋沢栄一にちなんでSeienという深谷地域の雑誌があるのですが、昨年高丹ガバナーと一緒に私が次のガバナーになるという記事が紹介されました。それをたまたま見たお医者さんがいらっしゃいました。その方は私の家の主治医でもあったのですが、「ご主人はロータリー

のガバナーをされるのですね。実は私は学生の頃本当に貧しかったので、ロータリーの支援をいただいて大学を受験し、そして医者になることができました。本当にロータリーの支援があったおかげで今日があります。ロータリーの取り組んでいる事業は本当に素晴らしいので、ご主人がガバナーになることによって、なかなか会社にも居られなかったり、お金を使ったり等大変だと思いますけれども、奥さんが支援してください。」とメールを家内に送ってくれたそうです。このようなことの積み重ねでロータリーが好きになっていくのだと思います。

また先ほどから話題にあります青少年事業です。青少年の皆さんが、外国のことが全くわからないにもかかわらず、いきなりたった1人で行き、帰ってきての帰国報告会では、すごく感動的なことがあります。また、米山でも海外から来られた方が日本のことを見た結果を話したり、海外の話をします。本当に感激することがあります。ロータリーに入ると様々な感動する瞬間がいっぱいあります。

(1) ロータリーの会員は、ロータリーに入ったおかげで事業が発展できたことを、語れるように

先ほどの清水会員は、クラブの例会のときにこんな話をしてくれています。「企業というのは、環境適応業だから時代の変化に合わせ変化しないといけない。ダーウィンの進化論と同じだよ」と。会社を継続させるためには、変化をさせないといけないということから、様々な事業を変化させながら、清水会員は商工会議所会頭となり、行田市も引っ張りました。

また、米山梅吉さんは、「できるだけ儲けよ。できるだけ蓄えよ。しかし、できるだけ与えよ。」と話をしていました。皆さん、会社を経営して儲けることは決して悪ではありません。儲けることが必要です。そして蓄えていくことが必要です。ただし、ロータリーの会員がその蓄えたお金を人のために使えるように、と考えていただければと思います。

そのためにもロータリーの会員は入会したおかげで事業も発展したということを語らなければ、会員増強や退会防止には繋がりません。考えてみてください。ロータリーに入って忙しすぎて会社が右肩下がりになってしまっても、お金ばかりがかかる…そのようなことを話したら誰がロータリーに入りますか。ロータリーに入って、すぐ会社も磨かれて良くなつたよという話をしないと、多くの方が入ってくれません。

では私はどうかというと、教習所の業界順位があるのですが、ロータリーに入れたおかげで、何とか発展し今の姿があります。

(2) ISOとロータリーの基本理念

そしてISOというのを考えていただきたいのですが、ISOは自分の会社の技術を自慢するものではありません。取引先と取引するとき、私達はこれだけの基準を満たしています、と伝える手段です。ロータリーはどうかと言うと、毎回四つのテストを唱和します。四つのテストを唱

和する者同士の取引ですから、安心して相手と取引することができます。また、中核的価値観として奉仕・親睦・多様性、高潔性・リーダーシップがあります。

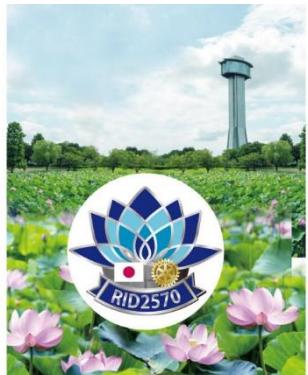
私が地区バッチを作るときに考えました。行田には行田蓮やさきたま古墳群、忍城がありますが、その中で蓮を考えました。蓮の咲く池は泥水です。泥水の中にしか蓮は咲きません。蓮は一切汚れることなく、すべての泥をはじきます。まさしく、ロータリーの中核的な価値観の高潔性ではないかなと思います。私達多くのメンバーがロータリーに好きで入り、継続しているのは、職業倫理の中にある高潔性ではないでしょうか。

(3) ポリオ根絶が示したロータリーのマジック

The Magic of Rotary 世界で、ロータリーがポリオ根絶を始めた1988年には、全世界で35万人のポロオの罹患者がありました。それをゼロにするなんて目標を誰もがそんなの無理だと思いました。日本だったならば、コロナワクチンを日本全国隅々まで行き渡らせることは簡単なことだと思います。ただ世界の中では戦争している人たちがいます。また、もっと難しいのは内紛です。政府軍と反政府軍が戦っている場合があります。どちらについたらポリオのワクチンが届けられるかと考えたら大変です。そんな中で地道に取り組み、現在はパキスタンとアフガニスタンで一桁の症例を残すまでになりました。まさしくこれがロータリーのマジックで、ロータリーが引き起こしてきた奇跡です。

松本会長・下条幹事をはじめとした寄居ロータリーの皆さんとともに、この2570地区にマジックを引き起こしていきたいと思います。そして一つ一つのクラブがsimply irresistible「抗うことのできないロータリークラブ」「入ってよかったロータリークラブ」にしていきましょう。ロータリーを皆さんと共に発展させることを皆さんにお願いし、私の卓話とします。本日はありがとうございました。





国際RC第2570地区第4グループ 寄居ロータリークラブ
E-mail yorii-rc@carrot.ocn.ne.jp

2024.7.24

会長 松本 幸男 会報・雑誌委員長 加藤 祐司

N o . 3

幹事 下条 誠 副委員長 柴崎 猛

- ・例会日時 毎週（水）12:30～13:30
- ・例会場 Spark(寄居町商工会)
- ・住 所 寄居町寄居1228
- ・T E L 0 4 8 (5 8 1) 2 4 6 8
- ・F A X 0 4 8 (5 8 1) 3 5 3 0